

令和元年度事業報告書		事業所名	やすらぎの家児島駅前	作成者	立石 裕子	作成日	R2.3.31
目標	本年テーマ	(計画) 推察力の向上 ～ 声なき声を聞き取る ～					
		(評価) テーマとして上げる事で観察・推察しよう意識出来ている。介護度が高い方に関わる時間の拡大が必要。					
基本処遇及び運営	■令和元年度処遇及び運営方針に対しての評価						
	(計画) ①利用者様の言動や表情をしっかり観察する。 ② 観察したことから、利用者様の思いを汲み取り支援する。						
	③ どうやったらできるか?という視点に立って検討し、迅速に対応する。 ④ 心地よい空間を作り。利用者様の定着・確保に努める。 ⑤ 研修を通して、資質の向上、より専門的な視点に立てるようにする。						
	⑥ 地域に向けて、開放的な雰囲気作りやコミュニケーションを図る機会を持ち、関係を深めていく。						
	(評価) ①② 変化が有った事等記録に残し、職員全員で情報共有・支援しよう意識できている。今後ご利用者様のペースに合わせながら、更に個々に合った時間の過ごし方、レクの提供が出来る様にしていく。 ③④ 無理なのは、難しいのでは、という思いが先にたつが「とりあえずやってみる」を実施。少しずつ浸透してきている。 ⑤ 今年は法人内の他事業所への体験研修もさせていただいた。他事業所の大変な事を知る・又良い所を取り入れる為にも、今後も続けていきたい。 ⑥ 秋祭りは一旦中止。引き続き公園の掃除や、今後は地域の避難訓練に参加させて頂く等、地域の集まりの場に少しでも顔を出す様にする。又介護予防教室を実施する等して地域の方に来て頂き、交流を図っていく。						
	■職員研修計画と実績						
	研修・セミナー	研修名称	参加実績	研修名称	参加実績		
		岡山県小規模連絡会	事例発表会に参加 他事業所の方と情報交換	介護職に求められる7つの力	2名	改めて、介護職の大切さを実感出来たり、新たに知識が増えるなどの良い機会となった。又、習ったレクを早速現場でやってみる等の姿もあり、他職員にも良い勉強となった。	
				高齢者疾患の基礎理解	1名		
		倉敷小規模連絡会	研修1回、会議4回実施。災害時の対応の勉強会・会議時に情報交換をする。又日頃の疑問を開ける関係性が築けてきた。	リスクマネジメント	1名	コロナの影響で無し	
BPSDの軽減を目的としたレク				2名			
認知症に関する研修・ケアンン上映会に参加・認知症サポーター養成講座		認知症に対する知識の再確認ができたり、自分を見直す機会となった様子。	生活機能の維持・改善・向上につながるレク	1名			
(効果) パート職員も含め全員1年に1回は、研修・セミナーに参加していただく様に計画を立てている。勉強してきたことで、自分や施設を見直す良い機会となっている。習ってきたことを講師として他職員に伝える様に内部研修に繋げ、情報共有していく。							
会議・委員会・内部研修	■会議・委員会計画実績・効果						
	会議委員会名	実績・効果		会議委員会名	実績・効果		
	事故予防委員会	3人～4人で月末に実施。掲示している当月の事故について、再度対応策など確認。		やすらぎ会議	毎月、全員実施(少人数ずつ)。やすらぎ目標・外部評価の目標について確認、又業務改善等の意見を出し合う等、みんなで情報共有でき、同じ支援が出来るようになっている。意見も段々出るようになり、「とりあえずやってみる」という方向になってきた。決めた事を全員が習慣化するのが課題。		
		給食委員会	毎月参加。ご利用者様の要望を伝えたり、不具合等の話し合いをして、改善出来ている。				
	安全衛生委員会	毎月参加。施設の清掃チェックを通して、1人が1日5～10分、時間を見つけ掃除をする様にする。なかなか習慣つかない。引き続き実施していく。		転倒予防体操	機能低下を防ぎ、いつまでもご自分で自分の事が出来る大切さを伝える。僅かな時間でも歩行したり、身体を動かすご利用者様が増えた。		
	祭り委員会	やすらぎより3名参加。今年も天候に恵まれず、室内での開催となる。地域の方の参加が少ない事もあり、今期で一旦中止とする。		やすらぎの介護報酬・加算	利用料の詳細を知っている職員がほぼいなく、高額な利用料を頂いている事を伝えた。職員から良い勉強になったとの声もあった。		

防災・災害	■災害訓練計画・実績			
	訓練予定月	実施月	訓練目的	訓練評価
	6月	6月	地震発生、津波を想定	困難な方は施設の外まで避難し、他のご利用者様は送迎車にて本部まで避難する。出勤者が日毎に違う為避難マニュアルを作成・周知する。
11月	11月	夜間の火災想定	1人での対応の為、ローテーション職員は常日頃から避難方法のイメージトレーニングをしていく必要がある。	

■月別行事・内部研修報告	
月度	
4月	お花見 小グループに分かれて実施 (中山公園・鷺羽山・種松山・柳田八幡宮)
5月	希望外出 小グループに分かれて実施 (漁火大名・コメダ・ベルグ) 転倒予防教室 ご利用者様と一緒に参加。
6月	希望外出 小グループに分かれて実施 (笠岡ベイファーム・膳) 外出が難しい方は好きなものを食べて頂く
7月	運動会 2日間開催 (パン食い競走・綱引き・玉入れ等) ※ 認知症サポーター養成講座 (赤崎高齢者支援センター主催:矢野部長・地域の方・ご利用者様参加)
8月	※ 外出 小グループに分かれて実施 (あっぱれすし丸・心花・マルナカ)
9月	陽だまり合同秋祭り 敬老会 2日間開催 慰問:マジックショーや子供の踊り等
10月	希望外出 小グループに分かれて実施 (鷺羽山) やすらぎの介護報酬・加算について (全職員)
11月	希望外出 小グループに分かれて実施 (清香・深山公園・マルナカ)
12月	クリスマス会 2日間開催 玉投げゲーム等 職員お手製ケーキ提供 BPSDの軽減を目的としたレクリエーション (5名実施)
1月	新年会 2日間開催 やすらぎ神社参拝 カードあそび・おみくじゲーム等
2月	節分会 2日間開催 的当てゲーム等
3月	行事なし レクの一貫で雛人形作りやプランターの花植え等

(総評) 4月当初21名だった登録者数が、施設入所等により一時期は17名にまで減り、収入は予算を大きく下回りました。3月にやっと21名までに戻る。県外・海外からの短期・期間限定の方や、重度の方も積極的に受け入れ、どうやったら安全且つ快適に過ごして頂けるか、意見を出し合いながら、受け入れ出来ていると思います。内部研修については予定していたものが出来なかったり、一部変更して実施。小規模は突発な訪問等が有る為、他事業所に比べ人員は潤っている。今後は、個々に合った時間が過ごせる様、又個々に合ったレクの提供をする等、小規模ならではの良さを活かしたサービスを提供していきたいと思ひます。今年度、主に臥床時間の長い方を対象に、理学療法士の先生のリハビリも取り入れさせて頂きました。介護職員で出来る事を教えて頂きながら、介護度の高い方へのアプローチも増やしていく。